

最先端研究開発支援推進会議 議事概要

- 日 時 平成 24 年9月6日(木)11:08~11:35
- 場 所 合同庁舎4号館第3特別会議室
- 出席者 相澤議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、青木議員、中鉢議員、大西議員、倉持統括官、中野審議官、吉川審議官、大石審議官

議題. FIRST 田中プロジェクトに係るヒアリングについて

- 相澤議員 これから最先端研究開発支援推進会議を開催させていただきます。議事は、FIRST 田中プロジェクトの今後の取扱いに係るヒアリングについてでございます。説明をお願いいたします。

<川本参事官より説明>

- 相澤議員 FIRSTの田中プロジェクトの今後の取扱いですが、この前いただいたご意見をもとに今後のスケジュールということで、特に9月12日に第1回のヒアリングを行うということでございます。これからヒアリング等を通して検討していかなければならないポイントとして、2つばかりここに挙げてあるところでございます。
- 大西議員 2に関してもいいですか。1だけですか。
- 相澤議員 両方結構でございます。
- 大西議員 まず1の確認で、時間が書いていないけれども、12日は10時からで26日が15時でいいですか。
- 川本参事官 26日が15時から17時、12日は10時から12時でございます。
- 大西議員 2番の点で、ここに書いてあることはこれでいいと思いますが、これに加えて、この研究の中心研究者に極めて近い方が、不正の疑いがある今、逮捕されている。そういうプロジェクトに対して公的資金を注入し続けることへの社会的な批判、これも考えなければいけないと思うんですね。これと成果の大きさは、ある意味で比較されることになると思うんですけども、非常に問題はあっても非常に大きな成果が期待されるので支援し続けるんだという考え方もあり得ると思いますが、これだと、サブテーマ2、3のリーダーが欠けることがプロジェクト全体にどういう影響を及ぼすのかということですが、その欠ける理由がはっきりしているわけですね。その欠ける理由のもたらす影響も、やはり考える必要があるのではないかという気がします。
- 相澤議員 そのところが表現上も大変デリケートなので、表現しにくいというのが多分事務局の立場だとは思いますが、そのことが、1つは1番目のところで共同提案者の役割が今までどうだったか、実績がどうだったかという面からまずきちんと検討してみる。それで今、ご指摘の、そうはいつでも社会的な評価というか、そのような部分もあるので、それはある意味では1と2がきちっと検討

されて、さらにそういう面をどうするかということになるのではないかと思うんですが、いかがでしょうか。

- 大西議員 もちろん、この研究プロジェクトそのものについて、1と2がきちんと整理されないといけないと思いますが、そういうことを検討せざるを得なくなった直接の理由は、研究資金の不正な使用の疑いがあるということですね。そういう人が加わっていたプロジェクトを継続するかしないかについて、そういった観点の判断も要るだろう、それは何らかの格好で明示されている必要があるのかなという気がするんですね。1と2だと余りそういう感じがしないといいますか、物理的に1人が欠けるというふうに読めるので。
- 相澤議員 そうですね。ここのところの書き出し、その他のところも、多分表現が難しいためにこのようにしているとは思いますが、意識としては十分にそういうような。例えば先ほどの学振からの報告のところに、あの場合はどうでしたか、「不祥事」という言葉ではなく「疑義が生じ」とか何かということで、多分大西先生が言われるのは、このプロジェクトについての予算というか、この研究資金上の不正の実態はどうか、まずきちっと議論される。
- 大西議員 そうです。それはなかなか時間がかかることかもしれませんが、それが1つ。
- 相澤議員 それがある程度の問題というような判断になった場合に、そうはいつでも、社会的な受け取り方はそれでは済まないよということではないかと思うんですね。川本参事官、表現は非常に難しいですが、それは確かに重要なポイントでもありますので、どこに位置づけるかなんですが、ちょっと工夫してください。そもそもこれは、確かになぜこういうことを議論しなければいけないかという根本の問題ではあるのですが。
- 川本参事官 今、先生がおっしゃった補助事業者としての適切性、あるいは辻本氏がこのプロジェクトの中で不正を行っていたかといったところは、現時点でわかる範囲で当然確認をとっていくということで、そういったところを見ていく。その部分はこの表現の中に、ある意味できると思うのですが、それをさらに社会通念上どう判断していくかということを観点としてここに明記することについては、その判断基準が非常に難しいのかなという気はいたします。
- 大西議員 例えば、この研究者がけがをして協力できなくなったという状況と、今回のような事情で継続できなくなったということでは、やはり違うわけですね。今2. で書いていることにはその区別がないのではないかと思うんですね。それはやはり判断の一つの材料にならざるを得ないので、一応ここに明記しておく必要があるのではないかという気がします。
- 相澤議員 それでは、経理上の問題とその他の問題ということを余り言わないで、疑義が生じたということに基づく、その部分についての検討といった形で1つ項目を起こしておいて、その中に経理上の問題、それからその波及的な影響等についての議論をするというようにしておいていただければよろしいかと思います。その他、ご指摘ありますでしょうか。それでは、田中プロジェクトについては今後、スケジュールに基づきまして進めさせていただきます。以上で最先端研究開発支援推進会議を終了いたします

(以上)